

資料2

平成30年度病院事業会計決算振り返り

病院局経営企画課

経営支援パートナー(千葉県病院経営支援共同企業体)

- 平成30年度振り返り

- ✓ 全体

- ✓ 青葉病院

- ✓ 海浜病院

H30年度は前年度に対して医業収益で8億円、医業収支で5億円の改善が見られた。
 医業収支は予算（プラン）に対して+8億円と大幅に予算を超える改善を示した。
 第4期プランの目標である経常収支黒字化を達成できた。

(単位: 百万円、税込)

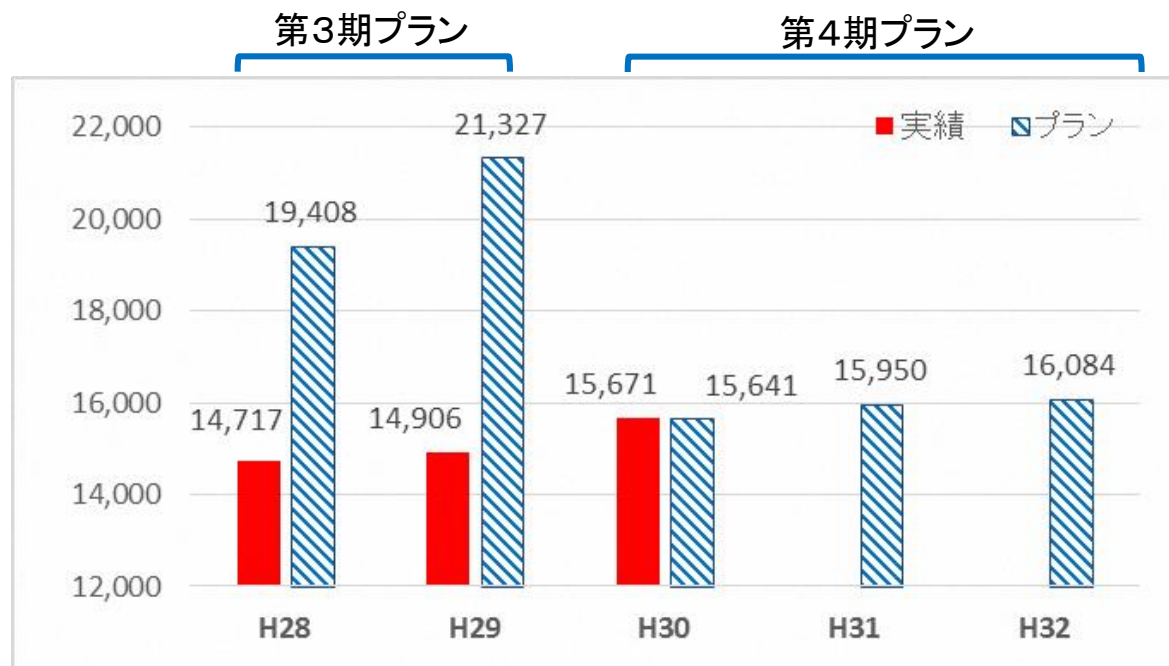
	H30		H29				H30予算			
	実績	構成比		構成比	前年比	前年差		構成比	予算比	予算差
医業収益	15,671	100.0%	14,906	100.0%	5.1%	765	15,641	100.0%	0.2%	30
入院収益	11,098	70.8%	10,508	70.5%	5.6%	590	11,223	71.8%	-1.1%	▲125
外来収益	4,241	27.1%	4,054	27.2%	4.6%	187	4,083	26.1%	3.9%	158
その他	322	2.1%	344	2.3%	-6.3%	▲22	335	2.1%	-3.9%	▲13
医業費用	20,680	132.0%	20,446	137.2%	1.1%	234	21,457	137.2%	-3.6%	▲778
職員給与費	10,717	68.4%	10,668	71.6%	0.5%	49	11,239	71.9%	-4.6%	▲522
材料費	3,790	24.2%	3,770	25.3%	0.5%	20	3,812	24.4%	-0.6%	▲22
薬品費	2,400	15.3%	2,376	15.9%	1.0%	24	2,373	15.2%	1.1%	27
診療材料費	1,375	8.8%	1,372	9.2%	0.2%	3	1,420	9.1%	-3.2%	▲45
経費	3,960	25.3%	3,843	25.8%	3.1%	117	4,095	26.2%	-3.3%	▲135
報償費	448	2.9%	401	2.7%	11.6%	47	399	2.6%	12.1%	49
委託料	2,390	15.3%	2,329	15.6%	2.6%	61	2,527	16.2%	-5.4%	▲137
その他経費	1,122	7.2%	1,112	7.5%	0.9%	10	1,168	7.5%	-3.9%	▲46
減価償却費	2,116	13.5%	2,058	13.8%	2.8%	58	2,196	14.0%	-3.7%	▲80
資産減耗費	16	0.1%	26	0.2%	-40.5%	▲11	20	0.1%	-22.3%	▲5
研究研修費	81	0.5%	82	0.5%	-0.1%	▲0	96	0.6%	-14.9%	▲14
医業収支	-5,008	75.8%	-5,539	—	-9.6%	531	-5,816	—	-13.9%	808
医業外収益	5,559	—	5,432	—	2.3%	127	5,670	—	-2.0%	▲111
医業外費用	396	—	473	—	-16.2%	▲77	413	—	-4.0%	▲17
経常収支	154	—	-580	—	-126.6%	735	-559	—	-127.6%	713
修正医業収支 ※	-2,816	—	-3,455	—	-18.5%	638	-3,547	—	-20.6%	731
広義人件費(給与費+報償費+委託費)	13,555	86.5%	13,398	89.9%	1.2%	157	14,165	90.6%	-4.3%	▲610

※ 修正医業収支＝医業収益－(医業費用－減価償却費－資産減耗費－その他除外費用(あり方))

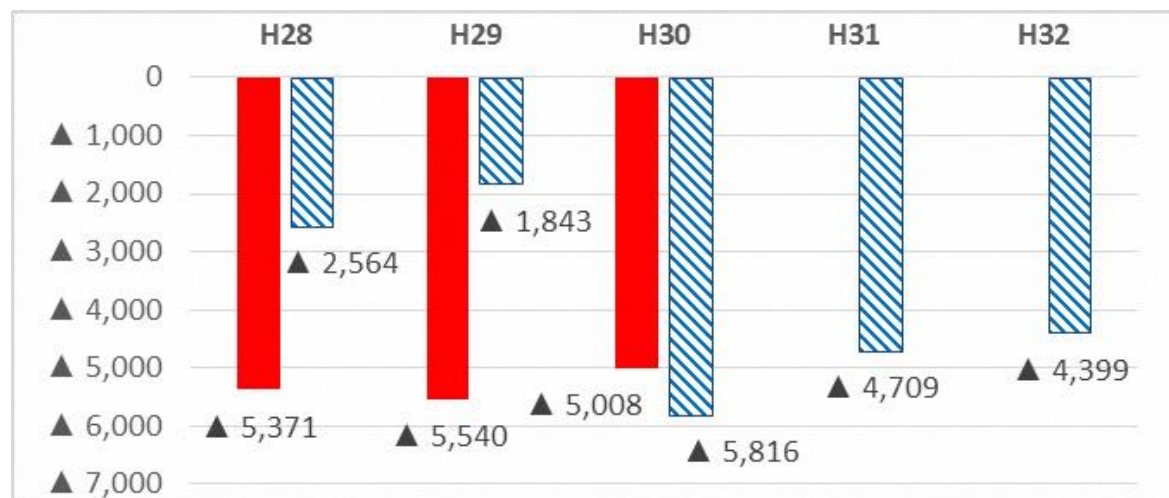
	H30 実績	H29 実績	前年差	H30 予算	予算差
医業収支比率	75.8%	72.9%	2.9%	72.9%	2.9%
経常収支比率	100.7%	97.2%	3.5%	97.4%	3.3%
修正医業収支比率	84.8%	81.2%	3.6%	81.5%	3.3%

第4期病院改革プランに対しても順調に進捗している。特に医業収支についてはプランを大幅に超過した

医業
収益



医業
収支



経営体制の強化も徐々に進んでおり、今期は特に予実管理体制を強化していく

昨期までに着手した経営強化

計画

- 現実的に達成可能かつ一定度ストレッチした改革プランの策定
- プランと進捗状況の乖離を年次でタイムリーに評価（本資料が該当）

実行

- 各課題について院内でプロジェクトチームを組成して、改革の実行（経営支援パートナーありの体制）

今期、来期で取り組む経営強化

計画

- プラン/予算と進捗状況の乖離を月次でモニタリングして、四半期ベースで評価
- 各院長と診療科統括部長の定期面談により、統括部長の経営意識を醸成

実行

- 各プロジェクトチームで自律的にPDCAが回る体制の構築（経営支援パートナーあり）

将来的に取り組む経営強化

計画

- より高度な経営モニタリングの実施（月次での評価など）
- 病院全体の予算/計画に加えて、各診療科が年次予算/計画を構築

実行

- 各プロジェクトチームで自律的にPDCAが回る体制の構築（経営支援パートナーなし）

R 1 第一四半期は、前年に対して医業収益で2.6億円、医業収支で2億円改善している。
また、医業収支は、予算に対して1.9億円の改善が見込まれる。

	R1第一四半期		H30 第一四半期				R1 第一四半期 予算			
4-6月累計	(千円・税込)									
	実績(R1)	構成比	前年(H30)	構成比	前年比	前年差	目標(R1)	構成比	目標比	目標差
医業収益	3,963,812	100.0%	3,699,721	100.0%	7.1%	264,091	3,873,957	100.0%	2.3%	89,856
入院	2,784,397	70.2%	2,572,847	69.5%	8.2%	211,550	2,753,769	71.1%	1.1%	30,627
外来	1,087,278	27.4%	1,054,571	28.5%	3.1%	32,708	1,040,386	26.9%	4.5%	46,892
その他	82,781	2.1%	71,828	1.9%	15.2%	10,953	79,801	2.1%	3.7%	2,980
医業費用	5,491,503	138.5%	5,428,296	146.7%	1.2%	63,207	5,592,717	144.4%	-1.8%	▲ 101,214
給与費	3,104,552	78.3%	3,013,485	81.5%	3.0%	91,067	3,214,252	83.0%	-3.4%	▲ 109,700
材料費	995,411	25.1%	913,653	24.7%	8.9%	81,758	937,807	24.2%	6.1%	57,604
経費	950,953	24.0%	930,174	25.1%	2.2%	20,779	993,465	25.6%	-4.3%	▲ 42,512
減価償却費	414,026	10.4%	545,953	14.8%	-24.2%	▲ 131,927	414,026	10.7%	0.0%	0
その他	26,561	0.7%	25,032	0.7%	6.1%	1,530	33,167	0.9%	-19.9%	▲ 6,605
広義人件費	3,789,865	95.6%	3,726,576	100.7%	1.7%	63,289	3,924,872	101.3%	-3.4%	▲ 135,007
修正医業収支	▲ 1,108,122	—	▲ 1,177,572	—	5.9%	69,450	▲ 1,298,086	—	14.6%	189,964
医業収支	▲ 1,527,691	—	▲ 1,728,576	—	11.6%	200,885	▲ 1,718,761	—	11.1%	191,070

※ 広義人件費＝給与費＋委託費＋報償費

※ 修正医業収支＝医業収益－(医業費用－減価償却費－資産減耗費－その他除外費用(あり方))

	H31	前年(H30)	前年差	目標(H31)	目標差
医業収支比率	72.2%	68.2%	4.0%	69.3%	2.9%
修正医業収支比率	78.2%	75.9%	2.3%	74.9%	3.3%
給与費対医業収支比率	78.3%	81.5%	-3.1%	83.0%	-4.6%
材料費対医業収支比率	25.1%	24.7%	0.4%	24.2%	0.9%
経費対医業収支比率	24.0%	25.1%	-1.2%	25.6%	-1.7%

- 平成30年度振り返り

- ✓ 全体

- ✓ 青葉病院

- ✓ 海浜病院

業績

- 医業収支は▲2,860であり、対前年度で1億円の改善が見られ、第4期プランのH30年度の医業収支目標(▲3,214)を達成することができた
- 対前年度で紹介患者数・救急車搬送数が大幅に増加し、新規入院患者数が増えたことで、医業収益が対前年度で4億円改善した
- 一方、医業費用は、経費が増加したが、それ以外の費用科目についてはほぼ横ばいとなり、対前年度で2.7億円費用が増加したが、医業費用比率は2.9%改善した

取組
進捗

- (収益増)
- 院長を中心とした開業医訪問、連携の会の開催や救急患者受入れ強化により新規入院患者数が増加した
- (費用削減)
- 支援パートナーと共同で、材料費や委託費の見直し、費用削減を行った

課題

- (収益増)
- 入院患者増のための施策を継続(特に入院患者数が減少した内科、外科についてテコ入れ)
- (費用削減)
- 医薬品の交渉(両病院共通)、診療材料ベンチマーク可視化、委託契約の複数年契約へ見直しの検討(検体検査業務委託、ベッドリネン管理業務委託、中央材料室滅菌業務など)を図るなど、昨年着手できなかった領域について費用削減施策を実行する

将来
展望

- 周囲の急性期病院の競争環境や地域のニーズに鑑みながら、病床機能を検討する

H30年度は前年度に対して医業収益で4億円、医業収支で1億円の改善が見られた。
また医業収支は予算（プラン）に対して+3.5億円と大幅に予算を超える改善を示した。

(単位: 百万円、税込)

	H30		H29				H30予算			
	実績	構成比		構成比	前年比	前年差		構成比	予算比	予算差
医業収益	9,025	100.0%	8,635	100.0%	4.5%	389	8,847	100.0%	2.0%	177
入院収益	6,377	70.7%	6,135	71.0%	3.9%	242	6,359	71.9%	0.3%	18
外来収益	2,466	27.3%	2,303	26.7%	7.1%	163	2,299	26.0%	7.3%	167
その他	182	2.0%	197	2.3%	-7.8%	▲15	189	2.1%	-4.0%	▲8
医業費用	11,885	131.7%	11,619	134.6%	2.3%	266	12,060	136.3%	-1.4%	▲175
職員給与費	5,903	65.4%	5,850	67.7%	0.9%	54	6,050	68.4%	-2.4%	▲147
材料費	2,562	28.4%	2,510	29.1%	2.0%	51	2,508	28.3%	2.1%	54
薬品費	1,707	18.9%	1,653	19.1%	3.2%	54	1,623	18.3%	5.2%	84
診療材料費	848	9.4%	847	9.8%	0.1%	1	875	9.9%	-3.2%	▲28
経費	2,095	23.2%	1,952	22.6%	7.3%	143	2,130	24.1%	-1.6%	▲35
報償費	173	1.9%	132	1.5%	30.8%	41	124	1.4%	39.4%	49
委託料	1,273	14.1%	1,239	14.3%	2.8%	34	1,350	15.3%	-5.7%	▲77
その他経費	649	7.2%	581	6.7%	11.7%	68	656	7.4%	-1.0%	▲7
減価償却費	1,273	14.1%	1,247	14.4%	2.1%	26	1,302	14.7%	-2.2%	▲29
資産減耗費	6	0.1%	15	0.2%	-56.0%	▲8	15	0.2%	-55.5%	▲8
研究研修費	45	0.5%	45	0.5%	1.5%	1	55	0.6%	-17.2%	▲9
医業収支	-2,861	—	-2,984	—	-4.1%	123	-3,213	—	-11.0%	352
医業外収益	3,425	—	3,096	—	10.6%	329	3,335	—	2.7%	89
医業外費用	360	—	397	—	-9.3%	▲37	363	—	-0.8%	▲3
経常収支	204	—	-284	—	-171.8%	489	-240	—	-185.1%	444
修正医業収支	-1,581	—	-1,722	—	-8.2%	141	-1,866	—	-15.3%	285
広義人件費(給与費+報償費+委託費)	7,349	81.4%	7,221	83.6%	1.8%	128	7,524	85.0%	-2.3%	▲175

	H30 実績	H29 実績	前年差	H30 予算	予算差
医業収支比率	75.9%	74.3%	1.6%	73.4%	2.6%
経常収支比率	101.7%	97.6%	4.0%	98.1%	3.6%
修正医業収支比率	85.1%	83.4%	1.7%	82.4%	2.7%

入院収益関連指標をみると、H30年度は、入院単価・入院延べ患者数・新規入院患者数が5年間の中で最高値である。また、医業費用関連指標をみると、給与費対医業収支比率は、H29年度をピークにH30年度は減少に転じた。

	H26	H27	H28	H29	H30
入院収益(百万円、税込)	5,584	6,073	6,149	6,135	6,377
(対前年比)		8.8%	1.3%	-0.2%	3.9%
入院単価(円)	59,424	57,217	57,892	58,338	59,498
(対前年比)		-3.7%	1.2%	0.8%	2.0%
入院延べ患者数(人)	93,962	106,141	106,222	105,160	107,178
(対前年比)		13.0%	0.1%	-1.0%	1.9%
病床稼働率	67.7%	76.3%	76.6%	75.8%	77.3%
(対前年比)		12.7%	0.4%	-1.0%	1.9%
新規入院患者数(人)	7,268	7,472	7,503	7,155	7,769
(対前年比)		2.8%	0.4%	-4.6%	8.6%
平均在院日数(日)	12.0	13.3	13.2	13.7	12.9
(対前年比)		10.8%	-0.8%	3.8%	-5.8%
外来収益(百万円、税込)	1,947	2,132	2,217	2,303	2,466
(対前年比)		9.5%	4.0%	3.9%	7.1%
外来単価(円)	9,759	10,442	10,815	10,960	11,579
(対前年比)		7.0%	3.6%	1.3%	5.6%
外来患者数(人)	199,474	204,150	204,946	210,147	212,952
(対前年比)		2.3%	0.4%	2.5%	1.3%
医業費用(百万円、税込)	10,254	10,871	11,263	11,619	11,885
(対前年比)		6.0%	3.6%	3.2%	2.3%
給与費対医業収益比率(税込)	60.8%	63.1%	64.1%	67.7%	65.4%
(対前年比)		3.8%	1.6%	5.6%	-3.4%
材料費対医業収益比率(税込)	28.0%	27.8%	28.0%	29.1%	28.4%
(対前年比)		-0.7%	0.7%	3.9%	-2.4%
経費対医業収益比率(税込)	31.3%	25.9%	24.8%	22.6%	23.2%
(対前年比)		-17.3%	-4.2%	-8.9%	2.7%

H30年度は、院長を中心とした開業医訪問等により紹介患者数が増加するとともに、千葉県の「搬送困難事例受入医療機関支援事業」へ指定されたこと等により、救急搬送数も前年度より増加し、入院延べ患者数が増大した。

	H26	H27	H28	H29	H30
入院延べ患者数(人)	93,962	106,141	106,222	105,160	107,178
(対前年比)		13.0%	0.1%	-1.0%	1.9%
紹介患者数(人)	10,496	10,797	9,448	9,339	9,980
(対前年比)		2.9%	-12.5%	-1.2%	6.9%
救急車搬送数(件)	3,476	3,756	4,277	4,334	4,966
(対前年比)		8.1%	13.9%	1.3%	14.6%
紹介率		72.8%	68.9%	68.2%	71.9%
逆紹介率		79.4%	81.3%	79.9%	90.5%

医業費用は経費が増加したのみで、それ以外の費用科目についてはほぼ横ばいであった。
予算と比較して 2 億円費用を抑えられた。

(単位: 百万円、税込)

	H30		H29				H30予算			
	実績	対医業収益	実績	対医業収益	前年比	前年差		対医業収益	予算比	予算差
医業費用	11,885	131.7%	11,619	134.6%	2.3%	266	12,060	136.3%	-1.4%	-175
職員給与費	5,903	65.4%	5,850	67.7%	0.9%	54	6,050	68.4%	-2.4%	-147
材料費	2,562	28.4%	2,510	29.1%	2.0%	51	2,508	28.3%	2.1%	54
薬品費	1,707	18.9%	1,653	19.1%	3.2%	54	1,623	18.3%	5.2%	84
診療材料費	848	9.4%	847	9.8%	0.1%	1	875	9.9%	-3.2%	-28
経費	2,095	23.2%	1,952	22.6%	7.3%	143	2,130	24.1%	-1.6%	-35
報償費	173	1.9%	132	1.5%	30.8%	41	124	1.4%	39.4%	49
委託料	1,273	14.1%	1,239	14.3%	2.8%	34	1,350	15.3%	-5.7%	-77
その他経費	649	7.2%	581	6.7%	11.7%	68	656	7.4%	-1.1%	-7
減価償却費	1,273	14.1%	1,247	14.4%	2.1%	26	1,302	14.7%	-2.2%	-29
資産減耗費	6	0.1%	15	0.2%	-56.0%	-8	15	0.2%	0	-8
研究研修費	45	0.5%	45	0.5%	1.5%	1	55	0.6%	0	-9
広義人件費(給与費+報償費+委託費)	7,349	81.4%	7,221	83.6%	1.8%	128	7,524	85.0%	-2.3%	-175

医業収支は約▲7億4,000万円で前年同期と比べ約1.8億円改善し、修正医業収支は前年同期と比べ約5,200万円改善した。また、医業収支・修正医業収支ともに目標値は達成した。

R1 第一四半期

H30 第一四半期

R1 第一四半期 予算

4-6月累計

(千円・税込)

	実績(H31)	構成比	前年(H30)	構成比	前年比	前年差	目標(H31)	構成比	目標比	目標差
医業収益	2,316,430	100.0%	2,126,981	100.0%	8.9%	189,449	2,211,055	100.0%	4.8%	105,375
入院	1,597,060	68.9%	1,459,739	68.6%	9.4%	137,321	1,573,520	71.2%	1.5%	23,541
外来	663,071	28.6%	623,974	29.3%	6.3%	39,097	590,483	26.7%	12.3%	72,588
その他	46,942	2.0%	42,793	2.0%	9.7%	4,149	47,052	2.1%	-0.2%	▲ 110
医業費用	3,055,405	131.9%	3,044,686	143.1%	0.4%	10,720	3,044,999	137.7%	0.3%	10,407
給与費	1,668,800	72.0%	1,601,297	75.3%	4.2%	67,503	1,699,367	76.9%	-1.8%	▲ 30,567
材料費	716,773	30.9%	624,127	29.3%	14.8%	92,647	643,537	29.1%	11.4%	73,237
経費	456,997	19.7%	479,966	22.6%	-4.8%	▲ 22,969	484,700	21.9%	-5.7%	▲ 27,703
減価償却費	197,833	8.5%	323,792	15.2%	-38.9%	▲ 125,960	197,833	8.9%	0.0%	0
その他	15,002	0.6%	15,504	0.7%	-3.2%	▲ 501	19,563	0.9%	-23.3%	▲ 4,561
広義人件費	1,996,240	86.2%	1,954,719	91.9%	2.1%	41,521	2,041,074	92.3%	-2.2%	▲ 44,834
修正医業収支	▲ 537,860	—	▲ 590,284	—	8.9%	52,424	▲ 631,723	—	14.9%	93,863
医業収支	▲ 738,976	—	▲ 917,705	—	19.5%	178,729	▲ 833,944	—	11.4%	94,969

	H31見込	前年(H30)	前年差	目標(H31)	目標差
医業収支比率	75.8%	69.9%	6.0%	72.6%	3.2%
修正医業収支比率	81.2%	78.3%	2.9%	77.8%	3.4%
給与費対医業収支比率	72.0%	75.3%	-3.2%	76.9%	-4.8%
材料費対医業収支比率	30.9%	29.3%	1.6%	29.1%	1.8%
経費対医業収支比率	19.7%	22.6%	-2.8%	21.9%	-2.2%

※ 本部分の費用等は含まれていない。

- 平成30年度振り返り
 - ✓ 全体
 - ✓ 青葉病院
 - ✓ 海浜病院

業績

- ・ 医業収支は▲2,147であり、対前年度で4億円の改善が見られ、第4期プランのH30年度の医業収支目標(▲2,614)を達成することができた。
- ・ 入院単価の上昇及び新規入院患者数が増えたことで、医業収益が対前年度で3.8億円改善
- ・ 収益増加の一方、医業費用は減少に転じ、前年度より33百万円費用を抑えられた

取組
進捗

(収益増)

- ・ 入院日数を短縮し、1日入院単価を上げることや特定入院料(NICU)の増加により、収支構造を改善してきた
- ・ 総合内科の強化、開業医訪問や連携医の会を通じて、入院患者が増加し、収支が大幅に改善
- ・ 経費率の低い新生児科、小児外科などの収益増が収支改善に寄与

(費用削減)

- ・ 採用を抑制し、人件費率が大幅に改善。その他費用についても抑制状態を維持した

課題

(収益増)

- ・ 高齢者受入れのための診療科整備を継続する
- ・ 救急科を充実させたことにより、救急車搬送件数が増加しておりバックアップ体制も必要。
- ・ 集患施策の継続。
- ・ 総合入院体制加算届出やDPC分析体制強化など、診療単価向上のための施策立案・実施

(費用削減)

- ・ 医薬品交渉(両病院共通)や診療材料ベンチマークによる可視化、委託契約の複数年化など昨年度実施できなかった施策を実行する

将来
展望

- ・ 周産期、小児、移行期医療を特色とする
- ・ 地域の高齢者医療を担うべく、診療体制の強化を行っていく
- ・ 上記の実現のためにも、ホスピタリストを育成していく

H30年度は前年度に対して医業収益で4億円、医業収支で4億円の改善が見られた。
また医業収支は予算に対して+4.5億円と大幅に予算を超える改善を示した。

(単位:百万円、税込)

	H30		H29				H30予算			
	実績	構成比		構成比	前年比	前年差		構成比	予算比	予算差
医業収益	6,647	100.0%	6,271	100.0%	6.0%	376	6,794	100.0%	-2.2%	▲147
入院収益	4,731	71.2%	4,373	69.7%	8.2%	358	4,864	71.6%	-2.7%	▲133
外来収益	1,775	26.7%	1,751	27.9%	1.4%	24	1,784	26.3%	-0.5%	▲9
その他	140	2.1%	147	2.3%	-4.2%	▲6	146	2.1%	-3.8%	▲6
医業費用	8,794	132.3%	8,827	140.7%	-0.4%	▲32	9,398	138.3%	-6.4%	▲603
職員給与費	4,814	72.4%	4,818	76.8%	-0.1%	▲4	5,188	76.4%	-7.2%	▲374
材料費	1,228	18.5%	1,259	20.1%	-2.5%	▲31	1,304	19.2%	-5.8%	▲76
薬品費	693	10.4%	723	11.5%	-4.2%	▲30	750	11.0%	-7.6%	▲57
診療材料費	527	7.9%	526	8.4%	0.3%	2	545	8.0%	-3.3%	▲18
経費	1,865	28.1%	1,890	30.1%	-1.4%	▲26	1,965	28.9%	-5.1%	▲100
報償費	275	4.1%	269	4.3%	2.2%	6	276	4.1%	-0.1%	▲0
委託料	1,117	16.8%	1,090	17.4%	2.5%	27	1,177	17.3%	-5.2%	▲61
その他経費	473	7.1%	531	8.5%	-11.0%	▲59	512	7.5%	-7.7%	▲39
減価償却費	842	12.7%	810	12.9%	3.9%	32	894	13.2%	-5.8%	▲51
資産減耗費	9	0.1%	12	0.2%	-21.0%	▲2	6	0.1%	62.3%	4
研究研修費	36	0.5%	37	0.6%	-2.1%	▲1	41	0.6%	-11.8%	▲5
医業収支	-2,148	—	-2,556	—	-16.0%	408	-2,604	—	-17.5%	456
医業外収益	2,134	—	2,336	—	-8.6%	▲201	2,335	—	-8.6%	▲201
医業外費用	36	—	76	—	-52.1%	▲40	50	—	-27.6%	▲14
経常収支	-50	—	-296	—	-83.2%	246	-319	—	-84.4%	269
修正医業収支	-1,270	—	-1,733	—	-26.7%	463	-1,681	—	-24.4%	411
広義人件費(給与費+報償費+委託費)	6,206	93.4%	6,177	98.5%	0.5%	29	6,641	97.7%	-6.6%	▲435

	H30 実績	H29 実績	前年差	H30 予算	予算差
医業収支比率	75.6%	71.0%	4.5%	72.3%	3.3%
経常収支比率	99.4%	96.7%	2.8%	96.6%	2.8%
修正医業収支比率	83.7%	78.3%	5.3%	79.9%	3.7%

入院収益関連指標をみると、H30年度は、入院単価（7万円台に到達）、新規入院患者数が5年間の中で最高値である。また、医業費用関連指標をみると、給与費対医業収支比率は、H28年度をピークにH30年度は減少に転じた。

	H26	H27	H28	H29	H30
入院収益(百万円、税込)	5,209	4,888	4,308	4,373	4,731
(対前年比)		-6.2%	-11.9%	1.5%	8.2%
入院単価(円)	68,206	66,786	65,641	65,010	71,747
(対前年比)		-2.1%	-1.7%	-1.0%	10.4%
入院延べ患者数(人)	76,369	73,190	65,635	67,274	65,943
(対前年比)		-4.2%	-10.3%	2.5%	-2.0%
病床稼働率	72.9%	69.7%	62.7%	63.6%	61.7%
(対前年比)		-4.4%	-10.1%	1.4%	-3.0%
新規入院患者数(人)	7,415	7,427	7,119	7,401	7,734
(対前年比)		0.2%	-4.1%	4.0%	4.5%
平均在院日数(日)	9.3	8.8	8.2	8.1	7.6
(対前年比)		-5.4%	-6.8%	-1.2%	-6.2%
外来収益(百万円、税込)	1,602	1,797	1,705	1,751	1,775
(対前年比)		12.1%	-5.1%	2.7%	1.4%
外来単価(円)	10,990	12,127	12,374	12,632	12,657
(対前年比)		10.3%	2.0%	2.1%	0.2%
外来患者数(人)	145,798	148,151	137,754	138,622	140,247
(対前年比)		1.6%	-7.0%	0.6%	1.2%
医業費用(百万円、税込)	8,499	8,695	8,825	8,827	8,794
(対前年比)		2.3%	1.5%	0.0%	-0.4%
給与費対医業収益比率(税込)	63.3%	67.7%	79.0%	76.8%	72.4%
(対前年比)		7.0%	16.7%	-2.8%	-5.7%
材料費対医業収益比率(税込)	22.4%	21.7%	20.0%	20.1%	18.5%
(対前年比)		-3.1%	-7.8%	0.5%	-8.0%
経費対医業収益比率(税込)	28.3%	29.7%	30.8%	30.1%	28.1%
(対前年比)		4.9%	3.7%	-2.3%	-6.6%

※ H27 心臓血管外科の新規患者受入停止

紹介患者数、救急搬送数もH29に対して大幅に増加した。

	H26	H27	H28	H29	H30
入院延べ患者数	76,369	73,190	65,635	67,274	65,943
(対前年比)		-4.2%	-10.3%	2.5%	-2.0%
紹介患者数(人)	6,727	7,076	7,426	7,723	8,295
(対前年比)		5.2%	4.9%	4.0%	7.4%
救急車搬送数(件)	2,069	2,259	2,588	3,100	3,552
(対前年比)		9.2%	14.6%	19.8%	14.6%
紹介率		59.6%	66.9%	65.3%	68.7%
逆紹介率		90.0%	73.5%	52.0%	49.3%

※ H27 心臓血管外科の新規患者受入停止

昨年度と比較し、医業収益が伸びているなかで医業費用は減少に転じた。
予算と比較して6億円医業費用を抑えられた

(単位: 百万円、税込)

	H30		H29				H30予算			
	実績	対医業収益	実績	対医業収益	前年比	前年差		対医業収益	予算比	予算差
医業費用	8,794	132.3%	8,827	140.7%	-0.4%	-33	9,398	138.3%	-6.4%	-604
職員給与費	4,814	72.4%	4,818	76.8%	-0.1%	-4	5,188	76.4%	-7.2%	-374
材料費	1,228	18.5%	1,259	20.1%	-2.5%	-31	1,304	19.2%	-5.8%	-76
薬品費	693	10.4%	723	11.5%	-4.2%	-30	750	11.0%	-7.6%	-57
診療材料費	527	7.9%	526	8.4%	0.3%	2	545	8.0%	-3.3%	-18
経費	1,864	28.0%	1,890	30.1%	-1.4%	-26	1,965	28.9%	-5.1%	-100
報償費	275	4.1%	269	4.3%	2.2%	6	276	4.1%	-0.1%	0
委託料	1,117	16.8%	1,090	17.4%	2.5%	27	1,177	17.3%	-5.2%	-61
その他経費	472	7.1%	531	8.5%	-11.1%	-59	512	7.5%	-7.7%	-39
減価償却費	842	12.7%	810	12.9%	3.9%	32	894	13.2%	-5.8%	-51
資産減耗費	9	0.1%	12	0.2%	-21.0%	-2	6	0.1%	62.3%	4
研究研修費	36	0.5%	37	0.6%	-2.1%	-1	41	0.6%	-11.8%	-5
広義人件費(給与費+報償費+委託費)	6,206	93.4%	6,177	98.5%	0.5%	29	6,641	97.7%	-6.6%	-435

医業収支は約▲6.7億円で前年同期と比べ約3,900万円改善し、修正医業収支は前年同期と比べ約3,300万円改善した。また、医業収支・修正医業収支ともに目標値は達成した。

R1 第一四半期

H30 第一四半期

R1 第一四半期 予算

4-6月累計

(千円・税込)

	実績(R1)	構成比	前年(H30)	構成比	前年比	前年差	目標(R1)	構成比	目標比	目標差
医業収益	1,647,382	100.0%	1,572,731	100.0%	4.7%	74,651	1,662,890	100.0%	-0.9%	▲ 15,508
入院	1,187,336	72.1%	1,113,108	70.8%	6.7%	74,229	1,180,249	71.0%	0.6%	7,087
外来	424,207	25.8%	430,597	27.4%	-1.5%	▲ 6,390	449,903	27.1%	-5.7%	▲ 25,696
その他	35,839	2.2%	29,027	1.8%	23.5%	6,812	32,738	2.0%	9.5%	3,101
医業費用	2,318,625	140.7%	2,283,265	145.2%	1.5%	35,360	2,437,695	146.6%	-4.9%	▲ 119,070
給与費	1,360,820	82.6%	1,335,839	84.9%	1.9%	24,981	1,440,105	86.6%	-5.5%	▲ 79,285
材料費	278,638	16.9%	289,526	18.4%	-3.8%	▲ 10,888	294,271	17.7%	-5.3%	▲ 15,633
経費	452,947	27.5%	426,797	27.1%	6.1%	26,150	475,384	28.6%	-4.7%	▲ 22,438
減価償却費	214,973	13.0%	222,161	14.1%	-3.2%	▲ 7,188	214,973	12.9%	0.0%	0
その他	11,247	0.7%	8,942	0.6%	25.8%	2,305	12,963	0.8%	-13.2%	▲ 1,715
広義人件費	1,694,311	102.8%	1,672,911	106.4%	1.3%	21,401	1,784,569	107.3%	-5.1%	▲ 90,257
修正医業収支	▲ 454,010	—	▲ 486,951	—	6.8%	32,940	▲ 557,572	—	18.6%	103,562
医業収支	▲ 671,242	—	▲ 710,533	—	5.5%	39,291	▲ 774,805	—	13.4%	103,562

	H31見込	前年(H30)	前年差	目標(H31)	目標差
医業収支比率	71.6%	68.9%	2.7%	68.2%	3.4%
修正医業収支比率	79.0%	76.4%	2.7%	74.9%	4.1%
給与費対医業収支比率	82.6%	84.9%	-2.3%	86.6%	-4.0%
材料費対医業収支比率	15.9%	18.4%	-2.5%	17.7%	-1.8%
経費対医業収支比率	27.5%	27.1%	0.4%	28.6%	-1.1%

※ 本部分の費用等は含まれていない。